

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		総合計画事務費 [総合計画事務（仮称）東大和市新総合計画策定事務]										
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	2				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	企画			課			企画担当	係	課長名	藤本 貴史		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	行 - 2			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)	122			
1 この 仕事 の 目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	(仮称)東大和市新総合計画 ① 第三次基本構想 ② 第五次基本計画				① 構想数 ② 計画数							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
① 第三次基本構想が策定されている。 ② 第五次基本計画が策定されている。				① 策定されている割合(素案50%/案75%/策定100%) ② 策定されている割合(素案50%/案75%/策定100%)								
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
① 研修の実施(総合計画策定、SDGs等) ② 中学生アンケート調査 ③ 市民意識調査 ④ 市民ワークショップ ⑤ 団体・企業インタビュー ⑥ 東大和市総合計画策定部会 ⑦ 東大和市総合計画策定本部 ⑧ 東大和市総合計画審議会 ⑨ パブリックコメント ⑩ 市民説明会 ⑪ 市民フォーラム				① 実施回数:回 ② 実施回数:回 ③ 実施回数:回 ④ 実施回数:回 ⑤ 実施回数:回 ⑥ 会議開催回数:回 ⑦ 会議開催回数:回 ⑧ 実施回数:回 ⑨ 実施回数:回 ⑩ 実施回数:回 ⑪ 実施回数:回								
2 指標 の 推 移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	①項目 ②項目	① ②	① ②	① ②						
	成果指標	②の数値	%	①0 ②0	①0 ②0	①100 ②0						
	目 標	②の目標値	%	100	100	100						
		目標値設定の考え方										
活動指標	③の数値	回	①0/②0/③0/④0/ ⑤0/⑥0/⑦4/⑧0/ ⑨0/⑩0/⑪0	①1/②1/③1/④3/⑤ 0/⑥5/⑦7/⑧4/⑨ 0/⑩0/⑪0	①1/②0/③0/④2/⑤ 0/⑥6/⑦6/⑧6/⑨1/ ⑩0/⑪0							
3 経 費	事業費(実績)		円	0	10,367,495	8,329,905		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	10,367,495	8,329,905						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.5	0.5						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	1,648,800	4,155,000	4,190,000						
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	1,648,800	14,522,495	12,519,905							
4 環 境 変 化 等	(1) 開始年度	H30 年度										
	(2) 環境の変化	総合計画の策定に当たっては、財政状況が厳しい中であっても、市が持続可能な行政運営を行っていくために、より効果性のある計画策定が求められるとともに、少子高齢化や人口減少、SDGsの取組等、社会情勢の変化等を反映していく必要がある。										

事業名称	総合計画事務費 [総合計画事務（（仮称）東大和市新総合計画策定事務）]			
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係 課長名 藤本 貴史

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・市議会において、（仮称）東大和市新総合計画の策定に当たり、引き続きSDGsの取組の推進についての視点を持つ必要性について意見があった。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可） <input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法：②、⑥、⑦、⑧ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報・ホームページ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（パブリックコメント）
7 課題	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 総合計画審議会や市民意識調査、市民説明会等の市民協働の取組を引き続き進めていく。 (1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 策定支援業務を専門の民間業者に委託していることから、当該業者の知見を最大限に活用できるよう業務を進めていく必要がある。 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 （仮称）東大和市新総合計画における第三次基本構想、第五次基本計画の検討において、市において策定スケジュールを押さえながら、策定支援業務を委託している専門の民間業者に、必要な情報収集や資料の作成等を積極的に依頼し、市の検討の材料とした。 (3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 引き続き、策定支援業務を委託している専門の民間業者の知見を最大限に活用し、業務を進めていく必要がある。
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 令和2年度に、（仮称）東大和市新総合計画における第三次基本構想を議会の議決を経て策定した。令和3年度も引き続き、第五次基本計画の策定に向けて、取組を進めていく。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 引き続き、支援業務の委託先の知見を活用しながら、東大和市総合計画審議会及び庁内検討組織（策定本部・策定部会）との連携を図りながら進めていく。